



## 原爆被爆・東京大空襲から80年 平和憲法を今こそ重視を

### 2025流山憲法集会

5月10日(土)流山市生涯学習センター

13:30開場 14:00開会 16:30閉会予定

講師

あまみやかりん

**雨宮処凛** さん

仮題「戦後80年を戦後100年に」

80年戦い守った憲法を100年に



作家、政治活動家。反貧困ネットワーク世話人、『週刊金曜日』編集委員。『生きさせろ! 難民化する若者たち』(2世の中の「生きづらさ」)を見据え、格差・貧困問題を追及、発信し続け、日本ジャーナリスト会議賞を受賞している。厚生労働省ナショナル・ミニマム研究会委員、「こわれ者の祭典」名誉会長。

### 雨宮処凛が行く。(マガジン9 から抜粋)

「楽しい日本を目指していきたい」。石破総理が語った言葉だ。その翌日、毎週土曜日に東京都庁の下で「もやい」と「新宿ごはんプラス」によって開催されている食品配布には、食料を求めて828人が並んだ。コロナ前は50~60人だった場だが、コロナ禍を受けて「一食分でも節約したい」と並ぶ人は増え続け、この日、過去最多を更新したのだ。困窮者支援の現場にいと、「楽しい日本」という言葉は随分と無神経なものに聞こえる。

この30年間、日本は先進国で唯一賃金が上がらなかった国である。そこに5年前、コロナ禍が直撃。この3年間はそこに物価高騰が加わる「三重苦」。そんな中、庶民の暮らしは限界に達しているというのが私の実感だ。

1年前と比べて暮らしに「ゆとりがなくなってきた」と回答した人は57.1%。そこに「一人ひとりが主導する『楽しい日本』」と言われても。「豊か」だった日本を30年かけて貧しくし、国力を奪い、未来の見えない不安定な働き方を激増させて少子化を推し進めたのが自民党政権であることについてはどう考えているのだろうか? その果てに、「今日より明日は悪くなる」という空気がこの国には蔓延していることを知らないと言っても言うのだろうか?

### トランプ流 ディール

トランプ大統領は“America First”を公然と掲げ「アメリカの利益優先だ。そのためには他の面倒は見ない」とWHOや気候変動など国際条約から脱退を続けています。そればかりか「他国の犠牲の上に自国の繁栄」をも追い求める姿勢を露骨にしめしています。

イスラエルの侵略に長年苦しめられてきたパレスチナの「人質作戦」をむしろ好機とばかりに「ハマスせん滅」を口実に徹底的にパレスチナを破壊しています。そこにトランプが差し出した仲介の手とは、

パレスチナの民を追い出す。その行く先は知らない。跡地をアメリカが占領し、リビエラのような、一大リゾート地にするという。そこに不動産王の彼がトランプタワーを建て、大規模な開発をするというわけだ。

プーチンのウクライナ侵略の停戦も「大統領になったら24時間で実現する」などと豪語。しかしいまは「時間がかかる」などと言い逃れた挙句、「支援するためには鉱物資源をよこせ。いうこと聞かなければスターリンクも止める」などとゼレンスキー大統領に要求していると言う。(スターリンクとはイーロンマスクが打ち上げた何千基もの衛星を使う高速通信網で、ウクライナはこれを対ロシア軍探査に利用)

ウクライナは世界の穀倉地帯と言われる豊かな農業があるばかりでなく、リチウムやチタン、ウランを含む重要な元素や鉱物の豊富な埋蔵があり、かなりの量の石炭、ガス、石油もある。

色よい返事をしないゼレンスキー大統領を「独裁者だ」と言ったかと思うと。翌週には「そんなこと言ったかな? 私がそんな発言をしたなんて信じられない」ととぼける無責任ぶり。他人の弱みにつけこんで大切な財産・資源を巻き上げる。これがトランプ流Deal(取引)なのだ。何百万の人々の命や領土まで取引材料にして、自国利益を守るように国民に見せながら、自分の権力強化をはかる。世界を無法地帯にはしてはならない。

# 日出生台で米軍訓練激化

南西諸島だけではありません。奄美大島を含む九州各地の自衛隊基地・米軍基地は「台湾有事」プロパガンダの渦中に入れられ、中国包囲網に組み込まれています。ここにはオスプレイも参加。地元の反対も強まっています。（朝日新聞の記事を紹介します）

沖縄県の米軍基地負担を軽減する名目で実施されている在沖縄米海兵隊の実弾射撃訓練が2月27日、陸上自衛隊日出生台（ひじゅうだい）演習場（大分県由布市、玖珠町、九重町）で始まった。過去最



多となる約430人の隊員と約110両の車両が参加する予定。午前7時44分、演習場内の丘の陣地に据えられた複数の大砲のうちの1門が最初の砲撃

を実施。砲煙が立った数秒後、大きな着弾音が山あい

に響いた。地域住民らでつくる「ローカルネット大分・日出生台」は今年7日、訓練監視のための小屋を玖珠町内の高台に設置。メンバーが交代で、発射音や着弾音を頼りに射撃数をカウントしていった。事務局長の浦田龍次さん（61）によると、この日は午後7時までに75発の砲撃を確認したという。



浦田さんは「どんな訓練をするかという地元への説明も不十分。訓練の中止、縮小を求める中で実施され、悔しい」と話した。

米海兵隊は155ミリ榴（りゅう）弾砲のほか3種の小火器、レーダーシステムなどを使用するとしており、射撃期間は3月9日までとしている。（朝日新聞より）

## 米戦闘機燃料切れで松山空港に「緊急着陸」

米軍のステルス戦闘機F35の2機が2月5日松山空港へ緊急着陸した。米軍から「燃料が枯渇している」と連絡があり受け入れたと言う。軍用空港ではない。そのためか給油し離陸するまで4時間も駐機。松山空港事務所などによれば、このトラブルによるケガ人はないものの、全日空の伊丹発・松山行の便が上空で13分待機しなければならなかった。

満タンで2000\*も飛べるという戦闘機がなぜ、こんなことに？ 米軍からの説明はない。これで役に立つの？

個人なら「どこをほつつき歩いていたのか、気が付いたらおなかペコペコ。他人の家に飛び込んで『おなかすいた、食べさせて…訳は言えない。』」飛行機なら許されるのか？

## 「DVD上映会 ガザからの報告」

ガザの難民キャンプに住み込みパレスチナの人々と共に生活した5年間。土井敏邦が生々しく伝える。



「ガザからの報告」は全編で205分。

長編のため、第1部と第2部と2回に分けて上映します。どちらに参加されても結構です。

第1部：3月30日（日）13:00受付 13:30～15:30

第2部：3月31日（月）13:00受付 13:30～15:00

\*各回上映終了後に意見交換があります。（ご参加は任意）

場所：流山市生涯学習センター C401

前回のニュース及びチラシにC409とあるのは間違いです

参加費：各回500円（学生無料）

## トランプ・ゼレンスキー会談決裂

2月28日に訪米したウクライナのゼレンスキー大統領とトランプ米大統領との会談は異例の公開の席での口論となり、ウクライナに支援の見返りに資源の提供を求める協定の調印に至りませんでした。その結果米国内で行う予定の講演会も中止されました。その後イギリスに渡ったゼレンスキー大統領はスターマー首相に「我々は共にある」と激励され、欧州首脳との会談の予定。米・欧の亀裂がどのように影響するのでしょうか。

## どこまで解明 安倍派裏金疑惑

2月27日、都内のホテルで非公開の場に参考人として招致された安倍派元会計責任者の松本氏は自分が担当する前から還流の仕組みはあったとし。継続の決定をした人の名は言えないと言いつつも間接的に証言。いよいよ絞られてきた。どこまで解明できるか、国会の責任が問われる。

## 「九条の会・流山」宣伝と署名

◆3月9日（日）15:30

◆4月9日（水）15:30

いずれもおおたかの森駅自由通路

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山